



緑窓

RYOKUSOUKAI

新会長ご挨拶

緑窓会会長 藤野 健彦(25期)

緑窓会会員の皆さま、新緑の季節を迎えましたがいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

昨年5月の定例役員会にてご承認を賜り、前任の伊藤会長の後を引継いで緑窓会会長を拝命しました25期の藤野健彦でございます。平素はいつも緑窓会にご協力、ご支援をいただき、改めまして感謝申し上げます。

まずは伊藤前会長の5年6ヶ月のご苦労と実績に対し、この場をお借りして敬意を表したく存じます。

ご承知のように緑窓会は青山学院校友会の一員であり、昭和25年(1950年)1期生が卒業した年に設立され、今年で創立74年になります。3月には75期生を新入会員として迎え、今や会員数は2万人を超える大所帯となりました。緑窓会と言うまでもなく会員一人ひとりの会であり、会員相互の親睦と中等部との連携による双方の発展に寄与することを基本方針として活動しています。ここ数年はコロナ禍により制約付きのイベント開催でしたが、5類移行に伴い徐々に以前の姿に戻りつつあります。毎年6月には卒業40年目となる期が企画を担当する「緑窓会の日」を設けており、今年は5月25日(土)に34期が担当して開催されます。久しぶりに青学講堂での礼拝に参列し、先生や仲間とのひとときを楽しんでいただければと思います。

また秋には長年にわたる学校との結びつきに感謝して中等部と一緒にジュビリーズの表彰を行います。卒業後60年(ダイヤモンド)、50年(ゴールドデン)、25年(シルバー)の期が対象で、本年は16期、26期、51期です。

これからも積極的に中等部と交流し、会員の皆さまと共に緑窓会を盛り立てて行く所存ですので、「緑窓会の日」へのご参加を含め、仲間として今まで以上のご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

今年も「緑窓会の日」でお会いしましょう。



思い出してみませんか

緑窓会副会長 高橋 知也(30期)

この度、緑窓会副会長を拝命いたしました30期の高橋知也と申します。皆さまの中には、「中等部の頃をあまりはつきり思い出せない」という方々も結構いらっしゃるのではないのでしょうか。自分自身もそうであったのですが、2019年に30期が主催した「緑窓会の日」に実行委員長として参加し、それを機会にそのほかの緑窓会イベントにも関わらせていただくことになってから、不思議と中等部の思い出が甦ってくるようになりました。旧校舎、先生方、部活、クラスメイトのことなど、漠然と「楽しかったなあ」というイメージから、具体的な思い出として息を吹き返した気がします。この度、このような「思い出の甦り体験」が副会長をお引き受けした動機の一つです。

緑窓会では、年間を通して、諸先輩が作り上げてきた多くのイベントを実施しております。これまでは参加する機会がなかった方々や緑窓会に興味がなかったという方々にも、より参加し易い緑窓会を目指します。緑窓会のイベントを通して、交流が薄くなっていた校友とも再会し、卒業生同士のさらなる楽しい関係が深まる場として、緑窓会の存在意義が発揮されるように努力していきたいと思っております。藤野会長とともに、これまでの緑窓会の良さを継承しつつ、新たな緑窓会として、すべての緑窓会会員に楽しんでいただき、現在の中等部をバックアップできる同窓会活動を目指してまいります。よろしくお願いいたします。



箱根駅伝応援

第100回となる箱根駅伝、青学は“負けてたまるか大作戦”を掲げて臨みました。4年ぶりに京急立会川駅付近での応援も再開することができ、応援にも熱が入りました。その甲斐あって、2年振り7回目の総合優勝を勝ち取ることができました。沿道での応援の後、場所を吉田家(蕎麦店)に移し皆で優勝を祝いました。来年は立会川で一緒に応援しましょう。



宇田川瞬矢選手



応援風景



吉田家にて

第34回「緑窓会の日」ご挨拶

実行委員長 箕輪 信矢(34期)



第34回「緑窓会の日」は、5月25日(土) 13時30分より、青学講堂にて開催します。テーマは「再会の響き～地の塩、世の光～」。中等部同窓生にとって、「時間は障壁ではなく、友情は永遠なるもの」という理念を込めました。中等部で学んだ仲間が旧交を温め合うと同時に、さまざまな年代の卒業生が世代を超えて交流できる場となるよう願っています。



高野研一郎さん 野原みどりさん ナゼ大橋りつ子さん 片岡孝太郎さん

第1部は、浅原一泰先生による司式および説教の礼拝です。

第2部は、終末期医療などの現場で医師として従事する高野研一郎さんによる講演。メインテーマにも掲げ、本学の精神ともいえる「地の塩、世の光」という言葉が示す通り、各々が天から与えられた使命を果たすために努力することの大切さを、医療現場の視点で語ります。

第3部は、野原みどりさんとナゼ大橋りつ子さんによるクラシック・コンサートです。中等部から東京藝術大学付属高校および同大学に進み、卒業後はプロの音楽家として活動する2人。30年以上の時を経て実現する母校での合奏は、まさにメインテーマに据えた「再会の響き」が会場を包み、深い感動を生むものと思っています。

そして、本会を進行するのは、日本を代表する女形、歌舞伎俳優の片岡孝太郎さん。軽妙な話術で、「緑窓会の日」を華麗に演出してくれることでしょう。

第34回「緑窓会の日」 再会の響き～地の塩、世の光～

日時 2024年5月25日(土) 13:30～16:00 (13:00受付開始)
場所 青学講堂
参加費 3,000円(青山学院在校生は無料)

——プログラム——

- 第1部 礼拝 13:30～14:10 司式・説教：浅原一泰(31期) 青山学院中等部宗教主任
奏楽：鷺晶子 青山学院大学オルガニスト、同大学ハンドベル・クワイアコーチ
- 第2部 講演 14:15～14:55 ナビゲーター：片岡孝太郎(34期) 歌舞伎俳優
高野研一郎(34期) 高野病院院長「豊かな最期を迎える
～慢性期医療・終末期医療の現場から～」
(休憩) 15分
- 第3部 クラシックコンサート 15:10～16:00
野原みどり(34期) ピアニスト ナゼ大橋りつ子(34期) ヴィオリスト

～緑窓会の一年～ 2023年度

6月3日(土) 第33回「緑窓会の日」

第33回「緑窓会の日」報告

33期 竹沢 美穂

6月3日(土)33期の企画担当で「緑窓会の日」が開催されました。梅雨前線と台風2号が重なり、関東で6月としては記録的な大雨で朝を迎えた当日でしたが、「緑窓会の日」が始まるお昼頃には、雨がピタッと止む奇跡が起きました。

第一部は、浅原一泰先生(31期)の説教と青谷充子さん(33期)の奏楽で礼拝が守られ、

第二部は、青谷充子さんによるパイプオルガンコンサートが行われました。バッハやアルビノーニ作曲の古典曲から、近代のL.パーンスタイン作曲の「ウエストサイドストーリー」というバラエティーに富んだ曲目で大変好評を得ました。

第三部は、『「食」で世界のサーバントリーダーへ』というテーマで、金子智樹さん(33期)と藤崎忍さん(33期)によるトークショーが行われました。お二人とも幼少から青山学院で培ったチャレンジ精神が、新しい発想を実現する原動力になっているというお話をされ、印象的でした。和やかな雰囲気のまま、第33回の「緑窓会の日」は終わりました。



9月23日(土) **グリーンフェスティバル** コロナ禍以降初めて並木道で青山珈琲と愛媛産フレッシュオレンジジュースを販売

10月7日(土) **中等部運動会** 優勝クラス1G、2H、3Cに緑窓会賞(年号入りマフラータオル)を贈呈

10月28日(土) **ジュビリー記念式典** 15期(ダイヤモンド)・25期(ゴールド)・50期(シルバー)に記念の盾と年号入りマフラータオルを贈呈

シルバージュビリーを受賞して

50期 李 東潤

2023年10月、夏の名残を感じさせる暖かい陽気の中で、我々50期は卒業25周年を祝うために再会しました。オルガンの音色、讃美歌と聖句、祈りの声が響くと、中等部時代に戻ったような感覚に包まれます。年齢は不惑に達し、チャペルも新しくなりましたが、礼拝の後に式典。その礼拝はまさに「中等部の礼拝」でした。時空を超えた絆を深く感じられたことは、まさに主イエス・キリストの導きによるものだったのかもしれない。社会はこの25年で大きく変わりましたが「変わらないものがある」ことを実感する素晴らしいひとときでした。



浅原先生 礼拝の様子

11月11日(土)・11月12日(日) **中等部祭** 総合グランプを受賞した3D「cup De party」に緑窓会賞(年号入りマフラータオル)を贈呈
2024年1月2日(火)・3日(水) **箱根駅伝応援** 第100回箱根駅伝総合優勝(往路新)(総合新)

…芦垣さんは、青山学院は、どちらからですか。

中等部からです。外部生として最初は不安がありましたが、1、2か月で溶け込むことができました。中高ともに野球部だったので、野球のことはほとんど覚えていません。(笑) 中等部3年の時に都大会に出場できたのが嬉しかったです。今でも顧問の朝野先生がその時の話をしてくれているそうです。



1999年第52回東京都中学校野球選手権大会

…今はどんなお仕事をなさっていますか。
横浜市消防局で消防士になって15年くらいになります。現在は港南消防署で、消防隊ではなく主に消防設備を点検する仕事をしていますが、人が足りない時は、消防車に乗って出動もします。



野球部で学んだ チームワーク

芦垣 慶一郎さん プロフィール

1997年青山学院中等部入学。2009年青山学院大学工学部卒業。中等部、高等部は野球部、大学ではアメリカンフットボール部に在籍。2009年に横浜市消防局に採用。入局後は消防隊や救助隊の配置を経て、現在は港南消防署で消防設備関係の業務を担当している。

…憧れて消防士になったのですか。目指したきっかけはありますか。

大学では体育会アメフト部で大怪我をしたせいもあり、工学部に6年間在籍したのですが、友人たちの就活の様子を見ていて、デスクワークなど普通のサラリーマンがイメージできず、2年間色々調べて目指すことにしました。「バックドラフト」など映画の影響で、体育会系な点やチームで協力して人命救助を達成するために活動する姿に惹かれたこともあります。

…自分の想像していた消防士とギャップはありましたか。

少なからずありました。皆さんは「サイレン鳴らして駆けつけ放水して消火する」と想像すると思いますが、実はそんなに火事はないですし、現在の火災件数は、15年前の約6割ほどです。一方、消防隊は24時間勤務で先輩と過ごし、災害出場がない時間は署内で訓練、体力作りのほかに、食事作り、洗濯、掃除などの生活面の仕事もあります。人によっては災害現場や訓練での厳しさはともかく、24時間職場で生活する息苦しさや、生活面でも口うるさく指導されることに違和感をもつこともあります。もちろん、現場でははっきりした指揮命令システムが必要なんですけどね。

…コロナ禍は大変でしたか。

隊員は感染対策で防護服を着用し、消毒に追われて、隊員自身も感染することもあり、人員不足になったこともありました。救急車が出払っていて、病院に運べなかったり、待ってもらったりということもありました。また、コロナ前に比べて、コロナ後は出動件数が増えました。ちょっとした発熱でも不安に思い、救急車を呼ぶことが増えたことも件数増加の原因の一つと思われます。

…災害対応で各地の消防隊、救急隊が派遣されるそうですね。

国内、海外を問わず、大災害の場合は、救助隊等が派遣されます。1月の能登半島地震でも神奈川県緊急消防援助隊として、横浜市消防局から1月だけで延べ約470人が派遣され、過酷な条件下、活動しています。消防士は、元々使命感が強いですし、私もいずれ参加したいと思います。

…消防士になって良かったですか。

はい、良かったです。私たち消防士にとっては当たり前の活動ですが、消防隊がいなければ助からなかったであろうという経験の積み重ねで、消防・救急という仕事のやりがいを感じました。実は、消防士は二世も多く、私の3人の息子たちも1人くらいなってくれたら嬉しいですね。

…防災や救急で卒業生に伝えたいことはありますか。

消防団をご存じですか。公設の消防隊と異なり、地域の方が防災や消防に参加する組織です。大規模な災害の際に頼りになります。地域に貢献してみたいという思いが少しでもある方には、お考えいただけるとありがたいです。



特別高度救助部隊「SR」

[インタビュー 濱中浩子(20期) 佐藤久美子(24期)]



消防隊よこはま



火災現場での消火活動



横浜市緊急消防援助隊(横浜市Webページから)



中等部便り

2024年度人事

部	長	上野	亮	1 年 学 年 主 任	関	隆 一
教	頭	浦田	浩	2 年 学 年 主 任	横	山 道 行
宗 教 主 任		浅原	一 泰 子	3 年 学 年 主 任	内	田 好 美
教 務 委 員 長		津村	裕 子			
指 導 委 員 長		朝野	圭 三			
教 育 研 究 委 員 長		井上	祐 貴			



切り絵
千輝克忠先生

75周年記念誌『青山学院中等部の75年 1947-2022』をご希望の方へ

緑窓会会員の皆さまよりお力添えいただき、2023年11月に75周年記念誌(A4判・370ページ・DVDつき)を刊行いたしました。印刷部数に若干の余裕がございますので、下記の要領により希望される方へ頒布いたします。

- I 頒布予定日：①「緑窓の日」5月25日(土) ②2024年度中等部祭開催日11月9日(土)・10日(日)
- II 応募要件：緑窓会会員の方・上記頒布日いずれか1日に中等部までお越しになり直接受け取れる方
- III 応募方法：下記A～Eを記入したメールを以下のアドレスまで送信してください。
- IV メールアドレス agjh75@aoyamagakuin.jp ※タイトルに「75周年誌希望」とお書きください。
- V 応募期限：2024年5月23日(木)16時 ※希望者数が頒布数を上回った場合は、抽選とさせていただきます。
- VI 問合せ先：青山学院中等部 agjh75@aoyamagakuin.jp

青山学院中等部

「維持会費」納入のお願い及び納入方法

緑窓会は維持会費(2年分3,000円)で運営されています。会費は、期会・クラス会のためのラベル発行費、年一回の会報「緑窓」の製作・発送費、「緑窓の日」実施費用、中等部生に運動会と中等部祭に贈る「緑窓会賞」のマフラータオル代、ジュビリー記念品製作費などに使われています。一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。

詳細は、ホームページをご覧ください。

2024～2025年度2年分3,000円をお振込みください。

[納入方法]

①郵便振替 会報「緑窓」に同封の振込票を使用

②銀行振込 **氏名の前にCで始まる会員番号(振込票に記載されています)を必ず付けてください。**

銀行 ゆうちょ銀行

店番 019

店名 〇一九(ゼロイチキュウ)

口座 当座

番号 0536829

口座名義 青山学院中等部緑窓会

注：銀行振込みの場合は、個人を特定するために、必ず、氏名の前にCで始まる会員番号を付記してください。付記されていない場合、払込みの確認が出来ない場合があります。

2024年度 緑窓会行事予定

2024年

- 5月25日(土) 第34回「緑窓の日」
- 10月12日(土) 運動会で緑窓会賞(マフラータオル)を贈呈
- 日時未定 「ジュビリー記念式典」16期・26期・51期 対象期の方へは7月頃にハガキを出します
- 11月9日(土)・10日(日) 中等部祭

中等部祭グランプリに緑窓会賞(マフラータオル)を贈呈

2025年

- 1月2日(木) 箱根駅伝往路応援 京急立川駅付近沿道
- 3日(金) 箱根駅伝復路応援 同上

緑窓会期幹事になって

たなか たつや
田中 達也(75期)

中等部卒業後も75期緑窓会幹事として、3年間お世話になった中等部に恩返しができることをうれしくおもいます。中等部で得た貴重な経験と、お世話になった先生方への感謝の気持ちを忘れずに、卒業後も75期の絆を繋げるサポートができるよう精一杯務めさせていただきます。よろしくお祈りいたします。



きたむら ゆうな
北村 優奈(75期)

緑窓会期幹事という大きな仕事を任せただけで嬉しく思います。中等部生活の三年間お世話になった先生方や大切な仲間である75期の皆さんからは多くのことを学びました。先生方や仲間たちへ恩返しができるように、全力で務めていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。



◆重要◆

ホームページ閲覧パスワードの設定

緑窓会「役員会」関連資料のうち、決算収支報告書、重要書類につきましては、セキュリティ強化の観点から**閲覧パスワード**を設けることにしました。

緑窓会ホームページの「役員会関連」から「緑窓会役員会」をクリックし、画面に従いパスワードryokusou(閲覧パスワードは共通です)を入力の上閲覧をお願いします。

《定例役員会の報告》

2023年5月20日(土)に第1回、11月25日(土)に第2回定例役員会が開催されました。詳細は、ホームページをご覧ください。

会長/藤野健彦 副会長/高橋知也
会計/大石由美子・林田香緒里
監事/平森均・杉浦佳樹



緑窓会ホームページ